

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第517号
令和7年3月18日発行



はなむけの言葉

校長 樋口 尚

春の訪れを感じる季節となりました。

小学部3名、中学部6名、高等部10名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、卒業証書を受け取り、それぞれの学部を巣立ちました。卒業式は、人生の大切な節目のひとつです。これまで、皆さんはそれぞれ12年・15年・18年という年月を歩んできました。その間、皆さんの命はずっと続いてきました。

では、その大切な命はどこにあるのでしょうか？心でしょうか？体でしょうか？命は「皆さんが使える時間の中にある」と、105歳まで生きた医師・日野原重明さんは語っています。

皆さんは、これまでの時間をどのように使ってきましたか？食事をする、友達と遊ぶ、本を読む、ゲームをする、勉強するなど、多くの時間を自分のために使ってきたことでしょう。

小学部や中学部を卒業する皆さんは、これからも与えられた時間を存分に自分のために使ってください。たくさん学び、たくさん遊び、心も体も大きく成長してください。

高等部を卒業する皆さんは、少しずつでいいので、自分の時間を他の人や社会のためにも使ってみてください。これから社会へ出て、さまざまな経験を積む中で、皆さんはさらに成長していくことでしょう。そして、もっとも大人になったとき、誰かのために使った時間が、実は自分にとって最も幸せな時間だったと気づく日がきっと来るはずです。

だからこそ、これからの人生で、自分に与えられた時間の一部を、人のためや社会のために使ってみてください。その積み重ねが、皆さんの人生をより豊かで幸せなものにしてくれるはずです。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。また、これまで当校の教育活動にご支援・ご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。お子様が、このように立派に成長されたのは、ご家族の深い愛情と、大切な時間をかけて育ててこられた賜物です。これからも、変わらぬ愛情と温かなまなざしで、お子様の成長を見守っていただければと思います。

最後に、卒業生一人一人のこれからの人生が、幸多きものとなることを願い、はなむけの言葉といたします。



1年間を振り返って～各学部主事から～

「にじがそらにかかって きっとあしたは いいてんき」

小学部主事 片岡 真弥

小学部の子供たちが大好きで何度も一緒に歌った手話歌「にじ」では、片手で数字の「7」を表し、その手を大きく山型になぞる「虹」の手話表現が何度も出てきます。一般的に「七色」と言われる虹の色は、実際にはスペクトラムでつながっているのですが、実はその数は無限にあります。

今年度も生活科では、各学級の生活年齢を大切に教育活動を展開しました。遊びを中心としながら笑顔いっぱい学んだ1組、電車やバスで出掛けた先に目を輝かせた2組、宿泊や手伝い、家族など身の回りの事象から更に自分の世界を広げた3組。学ぶ喜びに溢れる子供たちの表情を見ると、まさに子供たちの世界が虹となってつながっていくようでした。

子供たちの可能性は無限です。中学部へ新しいステージに進む6年生、学年の階段を1つ上る1～5年生、18人の子供たち一人一人の「にじ」が一層大きく空へ掛かっていくことを願い、応援しています。そして何より、保護者の皆様と共にお子様の成長を共に喜び合えた日々感謝申し上げます。ありがとうございました。



「笑顔」

中学部主事 加藤 亮

この1年間、一人一人が自分らしさを輝かせ、どんな活動にも進んで取り組んできましたね。初めてできたことに笑顔で「よしっ！」とガッツポーズ。友達の頑張りに笑顔で「いいね！」うっかり間違えた友達に温かい笑顔で「な～んでやねん！」休み時間に楽しく遊んで、最高の笑顔。皆さんの毎日には、笑顔があふれていました。笑顔で学校生活を送る皆さんから、「幸せ」を感じ取ることができました。笑顔が活動に向かう力となり、仲間とつながる力となっていましたね。

さて、新しい1年がもうすぐ始まります。1年生、2年生の皆さん、来年度の更なる活躍を期待しています。4月から高等部に入学する3年生の皆さん、中学部のリーダーとして1年間すばらしい姿をたくさん見せてくれました。次のステップでも、新たな仲間と共に明るい毎日を過ごしてください。

子供たちの笑顔がたくさん見られたのも、ご家庭での支えがあったからこそだと思います。保護者の皆様、今年度も中学部の教育活動へのご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございました。



「卒業・進級おめでとうございます」

高等部主事 畠山 瞳

3月7日の三送会では、3年生への感謝の気持ちを込めて、1年生、2年生それぞれがクイズや歌を混えながらメッセージを送りました。また、3年生も、話を聞きながら頷いたり、自然と笑みがこぼれたり、温かな雰囲気を受け取っていました。会全体を通して、生徒一人一人がしっかりとメッセージを伝えようとしたり、自分の役割を果たそうとしたりする姿に頼もしさを感じたと共に、お互いに相手を思いやり、一緒に過ごす時間を大切にしていることが伝わってくる高等部みんなの姿がとても印象的でした。これも今までの積み重ねと、その中で率先して「こうするといいんだよ」と姿を見せてくれた3年生の存在があったからだと思います。この三送会を通して、3年生から1・2年生へ大切なものが受け継がれましたね。1・2年生は、新年度の新しいメンバーでより大きく育てていきましょう。3年生のみなさん、大きな背中を見せてくれてありがとうございました。この先の活躍も応援しています。そして、保護者の皆様、今年度もご支援ご協力いただき大変ありがとうございました。

